

製品名: CSN3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09458**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	COPS3
別名	COPS3; CSN3; COP9 signalosome complex subunit 3; SGN3; Signalosome subunit 3; JAB1-containing signalosome subunit 3
遺伝子 ID	8533.0
SwissProt ID	Q9UNS2
免疫原	抗血清はヒト JAB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 374-423

背景

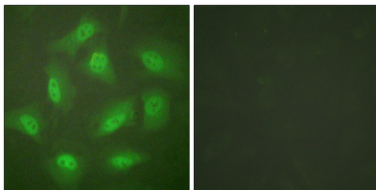
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、シグナル伝達に関与する調節因子をリン酸化するためのキナーゼ活性を有す

る。I κ B α 、p105、および c-Jun をリン酸化します。複合体を介したリン酸化のドッキング部位として機能します。この遺伝子は、17番染色体のスミス・マゲニス症候群領域内に位置しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードするいくつかの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2015年10月]、機能: COP9シグナロソーム複合体 (CSN) の構成要素であり、さまざまな細胞プロセスや発生プロセスに関与する複合体です。CSN複合体は、SCF型E3リガーゼ複合体のカリサブユニットの脱ネディル化を媒介することで、ユビキチン (Ubl) 結合経路の重要な調節因子であり、SCF、CSA、DDB2などのSCF型複合体のUblリガーゼ活性を低下させます。この複合体は、おそらくCK2およびPKDキナーゼとの関連を介して、p53/TP53、c-jun/JUN、I κ B α /NFKBIA、ITPK1、およびIRF8/ICSBPのリン酸化にも関与しています。CSN依存性のTP53およびJUNのリン酸化は、それぞれUblシステムによる分解を促進および保護します。、その他:一部の骨肉腫(OS)で増幅および過剰発現していることから、OSにおけるTP53の分解に関与している可能性があります。、PTM:おそらくATMまたはATRによるDNA損傷時にリン酸化されます。、類似性:CSN3ファミリーに属します。、類似性:1つのPCIドメインを含みます。、サブユニット:CSN複合体の構成要素で、COPS1/GPS1、COPS2、COPS3、COPS4、COPS5、COP6、COPS7 (COPS7AまたはCOPS7B)、およびCOPS8で構成されています。複合体中では、COPS1、COPS4、およびCOPS8と直接相互作用すると考えられる。CK2およびPKDと相互作用する。翻訳開始因子EIF3S6およびIKBK κ と相互作用する。、組織特異性: 広く発現している。心臓および骨格筋で高発現する。、

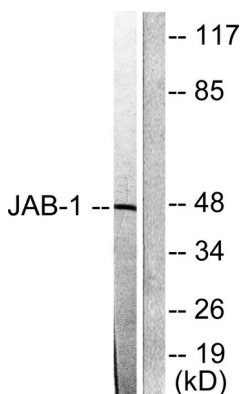
研究分野

-

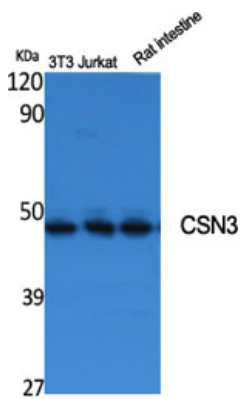
画像データ



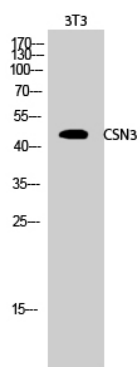
JAB1抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



JAB1抗体を用いたLOVO細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CSN3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



CSN3 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析